

第1章 労働力需給

1 雇用情勢の概況

平成31年4月の雇用失業情勢をみると、全国の完全失業率（季節調整値）は2.4%で、前年同月比0.1ポイント低下した。また、有効求人倍率は1.63倍で、前年同月比0.03ポイント上昇した。

本県の状況については、平成31年4月の新規求人数は9,058人で、前年同月比3.1%増加し、新規求職者数は3,931人で、前年同月比6.5%の減少となった。その結果、有効求人倍率（季節調整値）は1.54倍で、前年同月比0.11ポイント上昇した。

また、有効求人倍率を就業地別の有効求人倍率（季節調整値）で見た場合、平成31年4月における本県の有効求人倍率は1.73倍と更に高くなり、全国の1.63倍を上回っている。

本県の有効求人倍率の推移を見ると、平成29年度1.18倍（全国1.39倍）、平成29年度1.34倍（全国1.54倍）、平成30年度1.49倍（全国1.62倍）と増加を続け、雇用情勢は改善が進んでいる。

※就業地別有効求人倍率 全国のハローワークで受理した求人から、実際の就業地が奈良県内になっている求人数を用いて算出する有効求人倍率

<参考>

	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
完全失業者数（全国）	万人	233	218	203	183	166
完全失業率（全国）	%	3.5	3.3	3.0	2.7	2.4
新規求職者数（奈良）	人	60,541	58,675	54,959	51,867	48,199
新規求人数（奈良）	人	82,362	92,815	98,468	105,419	108,079
新規求人倍率（奈良）	倍	1.36	1.58	1.79	2.03	2.24
有効求職者数（奈良）	人	253,048	244,184	231,819	218,522	203,047
有効求人数（奈良）	人	225,223	253,703	272,781	291,747	302,096
有効求人倍率（全国）	倍	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62
有効求人倍率（奈良）	倍	0.89	1.04	1.18	1.34	1.49